

## はしがき

本報告書は、当研究所の令和2～4年度外務省外交・安全保障調査研究事業（総合事業）「米中関係を超えて：自由で開かれた地域秩序構築の『機軸国家日本』のインド太平洋戦略」の研究成果を取りまとめたものです。

太平洋とインド洋を結ぶ広大な海域である「インド太平洋」は、戦略的にも経済的にも一つのまとまりをもった地域として理解され、米中大国間競争の影響を大きく受けながら、各国が対外政策を展開する主要な舞台となっています。日本は、インド太平洋地域の海洋秩序に大きな関心と責任を有する海洋国家として、2016年以降「自由で開かれたインド太平洋」（FOIP）を掲げてきました。近年、米国、豪州、ASEAN、欧州各国もインド太平洋戦略を表明するなど、こうした概念は国際的な広がりを見せています。自由で開かれたルールに基づく地域秩序をインド太平洋に築くために、「機軸国家」である日本が関係諸国との関係をどのように推進してゆくべきかを検討し、現状の安全保障環境の学際的分析を踏まえた現実的な政策提言がより一層求められています。

以上のような背景や問題関心を踏まえ、本プロジェクトでは、インド太平洋地域における大きな情勢変化について多角的に考察し、日本が取るべき対応を検討することを目指しながら、ミャンマー政変、日本のFOIPとASEANのインド太平洋構想（AOIP）の関係、日米豪印（QUAD）の枠組みの下での連携拡大などについて具体的な検討を試みました。本報告書に収められた論文は、3か年に亘るこうした研究活動の成果です。

なお、ここに表明されている見解はすべて個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではありません。今回の研究成果が、我が国の自由で開かれた地域秩序構築のための有益な視座を与えるものとなることを期待します。

最後に、本研究に真摯に取り組まれ、報告書の作成にご尽力いただいた菊池努主査及び研究会委員各位、並びにその過程でご協力いただいた関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表します。

令和5年3月

公益財団法人 日本国際問題研究所理事長

佐々江 賢一郎

## 研究体制

<b>主査：</b>	菊池 努	青山学院大学名誉教授／日本国際問題研究所上席客員研究員
<b>研究顧問：</b>	武居 智久 宮川眞喜雄	三波工業株式会社 特別顧問／元海上幕僚長 前駐マレーシア大使
<b>委員：</b>	池田 徳広 小原 凡司 片田さおり 北野 尚宏 神保 謙 鈴木 早苗 溜 和敏 益尾知佐子 湯澤 武	ハーバード大学アジアセンターシニアフェロー／ 株式会社富士通システム統合研究所 安全保障研究所所長 笹川平和財団 上席研究員 南カリフォルニア大学国際関係学部 教授／ 日本国際問題研究所客員研究員 早稲田大学理工学術院 教授 慶應義塾大学総合政策学部 教授 東京大学大学院総合文化研究科 准教授 中京大学総合政策学部 准教授 九州大学大学院比較社会文化研究院 教授／ 日本国際問題研究所 客員研究員 法政大学グローバル教養学部 教授

(敬称略)

<b>委員兼幹事：</b>	市川とみ子 尾崎壮太郎 川井 大介	日本国際問題研究所所長 日本国際問題研究所研究調整部長 日本国際問題研究所研究員
<b>担当助手：</b>	田島 理博 平林 祐子	日本国際問題研究所研究助手 日本国際問題研究所研究助手

## 目 次

【総論】 インド太平洋の新しいリージョナル・アーキテクチャー —自由で開かれたインド太平洋（FOIP）の実現と QUAD（日米豪印協力）の可能性	菊池 努 ……1-1
「米中関係を越えて」： 包括的（inclusive）で多元的（pluralistic）なインド太平洋秩序に向けて	菊池 努 ……2-1
インド太平洋の地経学戦略における仲間づくり	片田さおり ……3-1
ウクライナ戦争のインド太平洋地域に対する影響	小原 凡司 ……4-1
米中対立のゆくえ	池田 徳宏 ……5-1
インド外交の「プルーリラテラリズム」	溜 和敏 ……6-1
インド太平洋協力とアメリカ・ASEAN 関係	鈴木 早苗 ……7-1
中国とグローバルサウス：ザンビアを事例に	北野 尚宏 ……8-1
2023 年中ロ共同声明と世界の分断	益尾知佐子 ……9-1
大国間競争時代における ASEAN 中心制度の展望	湯澤 武 …… 10-1